雲南懇話会

鄭和とムハンマド=チョンホ
―雲南石碑のナゾ―

上田　信
（立教大学）

航海の日

- 7月11日　中国:航海の日（航海節）2005年に施行
- 1405年　鄭和の第1回南海遠征の出帆の日
- 中国「海洋強国」のイベントが行われる。

スリランカの鄭和

- スリランカ南部ゴール
- 2013年　国立博物館に中国政府の協力を得て中国コーナー設立。
- 鄭和を顕彰。

鄭和と
ムスリムの海

鄭和:高校教科書では

南ではベトナムを一時占領した。またイスラーム教徒の宦官鄭和(かんがんていわ)(1371～1434ころ)に命じ、艦隊(かんたい)をひきいてインド洋からアフリカ沿岸にまでいたる数回の遠征をおこなわせ、南海諸国の明朝に対する朝貢(ちょうこう)を勧誘(かんゆう)した。

鄭和の故郷　中国の雲南省昆陽(晋寧県)

鄭和記念公園の鄭和像

石碑のナゾ

晋寧「鄭和」公園：鄭和の父の墓

故馬公墓誌銘

故馬公墓誌銘

公字哈只姓馬氏世為雲南鼠陽州人祖拜顏妣馬氏父哈只母
氏公生而魁岸奇偉風裁凜凜可畏不冒枉己附人人有過輒面斥
無隱性尤好善遇貧困及鰥寡無依者極保護賙給未嘗有倦容以
故鄉黨靡不稱公為長者娶溫氏有婦德子男二人長文銘次和女
四人和自幼有材志事今
天子賜姓鄭為內官監太監公勤明敏謙恭謹密不避勞勩縉紳咸稱譽
焉嗚呼觀其子而公之積累于平日與義方之訓可見矣公生於甲
申年十二月初九日卒於洪武壬戌七月初三日享年三十九歲長子
文銘奉柩安厝於寶山鄉和代村之原禮也銘曰
身處乎邊陲而服禮義之習分安乎民庶而存惠澤之施宜其餘
深長而有子光顯于當時也
皆
永樂五年端陽日賞善大夫禮部尚書兼左春坊大學士李至

碑文(1)

公(鄭和の父)の字は哈只(ハッジ)、姓は馬氏、代々雲南の昆陽州のひとであった。

碑文(2)

公は体格が立派で、風采は凛々としていて威厳があり、己をまげてまでして人に迎合することはなく、人に誤りがあれば面と向かって叱責した。

碑文(3)

その性格は善良で、貧しい人や身寄りのない者には常に保護し援助し、飽きることがなかった。そのために郷里の人々のなかで、公を長者だと称えない者はいなかった。

碑文(4)

・和は幼いときから才と志とを持ち、今の天子に仕えて姓として鄭を賜り、内官監の太監(長官)となった。

碑文(5)

- 公は甲申(西暦1345年)に生まれ、
- 洪武壬戌(西暦1382年)に死去、享年39歳であった。

碑文(後半)

- 永楽三年(1405年)端陽(端午)の日、
- 資善大夫礼部尚書兼左春坊大学士李至剛撰

碑文のナゾ

- なぜ、和の父親の本名が欠けているか？
- なぜ、死後23年後に立てられたのか。

碑文のナゾ

・なぜ礼部尚書が碑文を書いたのか？

石碑の裏に刻まれた言葉

- 馬氏第二子太監鄭和奉
- 命於永楽九年十一月二十二日至於
- 祖家墳塋、祭掃追薦、至閏十二月十二日吉日乃還記耳

深まるナゾ

- なぜ墓参りをしたのか
- 1411年12月7日から
- 1412年1月25日
- 50日ほどのあいだ

「鄭和」の名前

「和」に付された標識

- 和＝本名
- 鄭＝皇帝から下賜された姓
- 内官監太監＝役職名
- 「哈只」(ハッジ)の孫・息子

なぞを解く手がかり

- 「鄭和」の第1回南海遠征は、永楽三年(1405年)六月に始まる。
- その直前の、同年五月に碑文が書かれる。

「鄭和」と呼ばれる以前

幼いときの名前

・幼名＝三保

・1つの仮説

アラビア語で金曜日を意味する

シャバーン

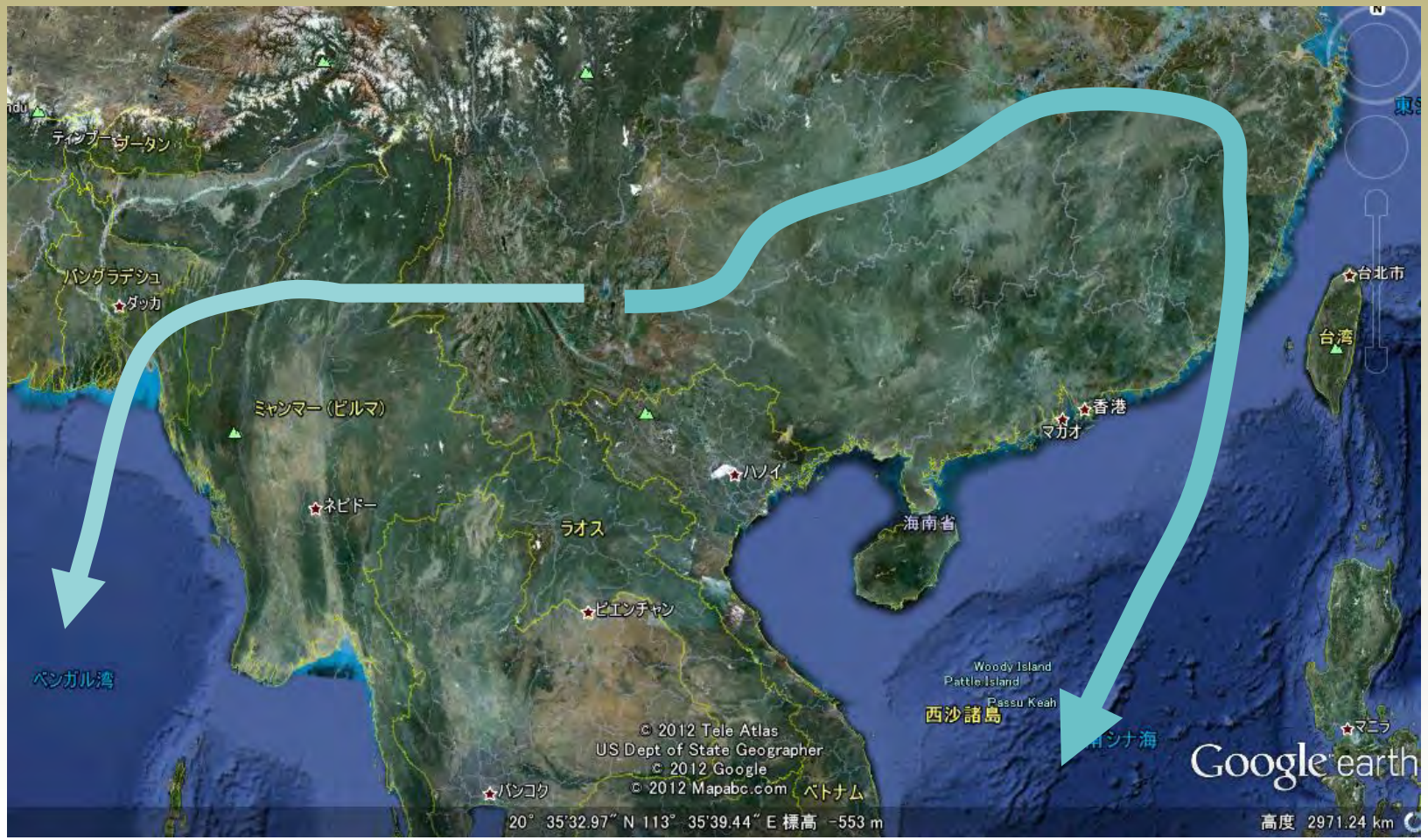
（馬明道『伊斯蘭教対中華文化之影響』台北：中国文化大学出版部、1982年）

雲南から天堂（メッカ）

・雲南有路可通、一年之上可至其地。

汪大淵『島夷志略』「天堂」の条

2つの可能性


ティンプー
ブータン
バングラデシュ
ダッカ
ミャンマー（ビルマ）
ネピドー
ラオス
ハノイ
ビエンチャン
バンコク
ベトナム
海南省
香港
マカオ
台北市
台湾
ベンガル湾
Woody Island
Pattle Island
Passu Keah
西沙諸島
マニラ
© 2012 Tele Atlas
US Dept of State Geographer
© 2012 Google
© 2012 Mapabc.com
20° 35'32.97" N 113° 35'39.44" E 標高 -553 m
Google earth
高度 2971.24 km

祖父と

明軍の雲南攻略

・雲南にあったモンゴル政権攻略のため明朝は30万の軍隊を送り込む。

過酷な運命

・明軍に捕まり去勢される。

・贈り物として

皇帝・朱元璋の四男の朱棣（のちの永楽帝）のもとに。

宦官の長官へ

主人の朱棣

- 第2代皇帝（朱元璋の長男の長男）に睨まれ、追い詰められる。
- 靖難の役（1399-1402年）。
- 「鄭」の姓を与える。

南海遠征

鄭和の南海遠征

- 1405年7月11日、永楽帝の命により第1次航海
- 旗艦の長さ44丈（約137m）、幅18丈（約56m）
- 船団は62隻
- 総乗組員は2万7800名余り

南海遠征

鄭和艦隊の7回の航海

- 第1回　1405年～1407年
- 第2回　1407年～1409年
- 第3回　1409年～1411年

++++++++++++++++++++++++++++++++++

- 第4回　1413年～1415年
- 第5回　1417年～1419年
- 第6回　1421年～1422年

++++++++++++++++++++++++++++++++++

- 第7回　1432年～1434年

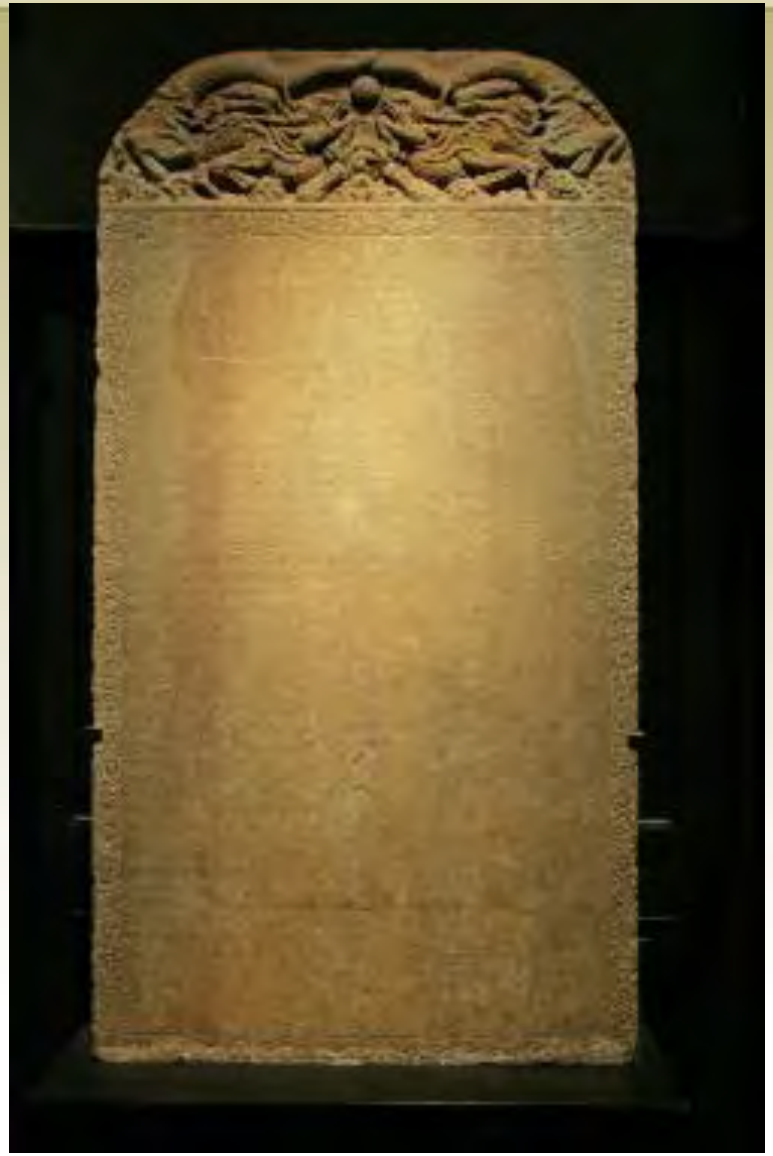
第1回から第3回

- 目的地:カリカット
  インド洋の交易の中心港
- 2年ほどの航海を終えて中国にもどると、風向きが変わるとすぐに出帆

第2回航海

- カリカットからの帰路、鄭和艦隊のスリランカ寄港を記念して石碑が建立された。

石碑の3つの面に刻まれた言葉



漢文・タミル語・ペルシア語の3ヶ国語で書かれた石碑

奥山直司氏ブログより

http://okuyama08.blog120.fc2.com/blog-entry-634.html

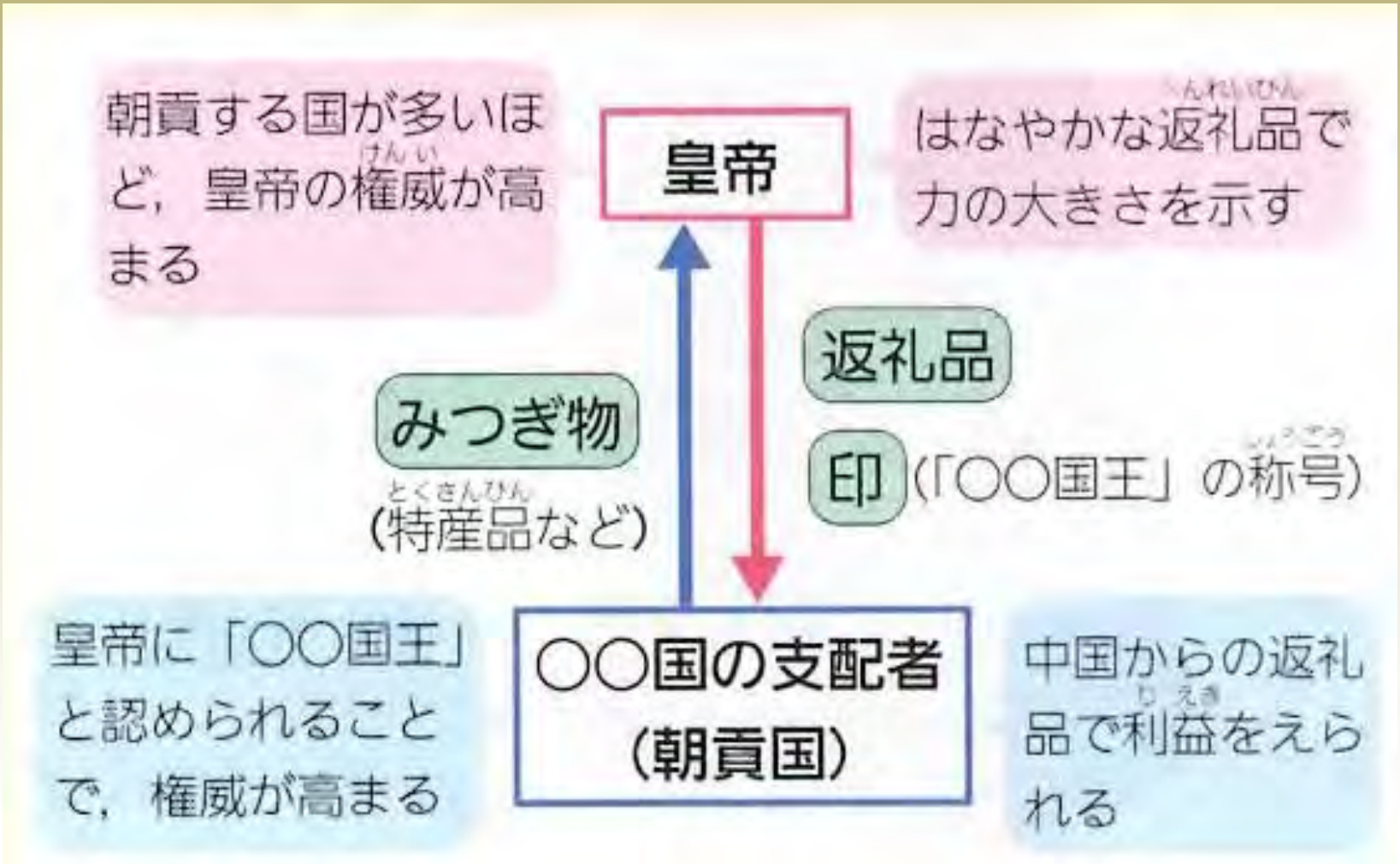
第4回から第6回

- 目的地:ホルムズ
  ペルシア湾岸の交易港
- 航海を終えて中国にもどってから、次の出帆までに2年あまりの歳月を費やしている。

第四回目以降の航海

- インド洋西部のイスラーム圏で行われた。
- 多くのムスリムが参加するようになった。

朝貢のしくみ


朝貢する国が多いほど，皇帝の権威が高まる
皇帝
はなやかな返礼品で力の大きさを示す
返礼品
みつぎ物
(特産品など)
印(「〇〇国王」の称号)
皇帝に「〇〇国王」と認められることで，権威が高まる
〇〇国の支配者
(朝貢国)
中国からの返礼品で利益をえられる

朝貢の担当者

・儀礼を管轄する役所は、
　礼部
　（外務省＋宮内庁）÷２
・その長官は、　礼部尚書

南海遠征の目的

第1回航海の目的

- 1403年に南京にインド洋から来たムスリム、メッカ巡礼者が到着。
- インド洋から南シナ海に船で渡れない。
- タイのアユタヤに足止め。

1400年ごろの南海の状況

第1回航海の成果

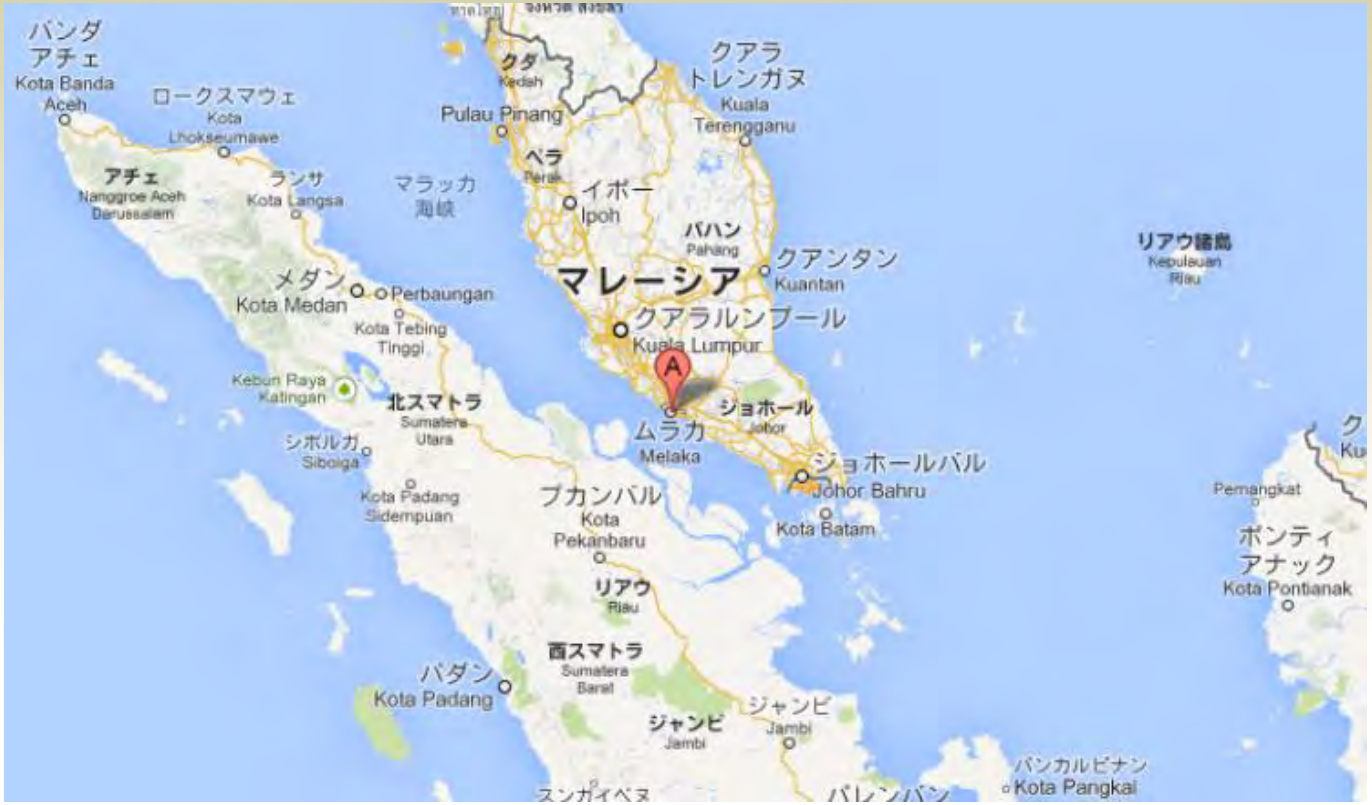
- マラッカ海峡の航行を妨げていた華人の陳祖義を逮捕
- 陳祖義に替わってムスリムの華人に管理させる。

陳祖義との戦闘

陳祖義

第1回航海の成果

・マラッカ海峡の要所マラッカに遠征の基地を置く。



ハッジ三保

碑文はなぜ立てられたか？

- 鄭和を「哈只」(ハッジ)の孫・息子であることを、認定するため。
- 父の本名は必要がない。
- 父は、明朝への抵抗者。

題記　第4回航海の直前

- 墓参り　永楽九年十一月
- 帰還

  永楽九年閏十二月十二日
- この50日のあいだ、和は何をしていたのか。

南海の各地に雲南ムスリムの長官を置く

「鄭和」の遠征か？

「鄭和」の遠征ではなかった

- 東南アジア・インド洋への遠征は、鄭和（明朝皇帝が与えた名前）のもとで行われたのではなく、「ハッジの孫・息子」である和の名前で行われたプロジェクトであった。

なぜ石碑は建てられたのか

- 「鄭和」に「ハッジの孫・息子」であるという標識を回復させるために必要な手続きが、礼部による「和」の父の墓の造営と碑文の作成であった。

「イスラム教徒の鄭和」か？

- 航海には漢族も参加。
- 安全を祈願するために、航海の女神・媽祖などを祀る。
- 宦官として、ムスリムの信仰を貫けなかった。

最後の航海

- 1431年:7回目の航海。
  永楽帝の死後に彼の孫の宣徳帝の命令で。
- 1431年、分遣隊はメッカに。
- しかし、和はそれには加わらない。

死

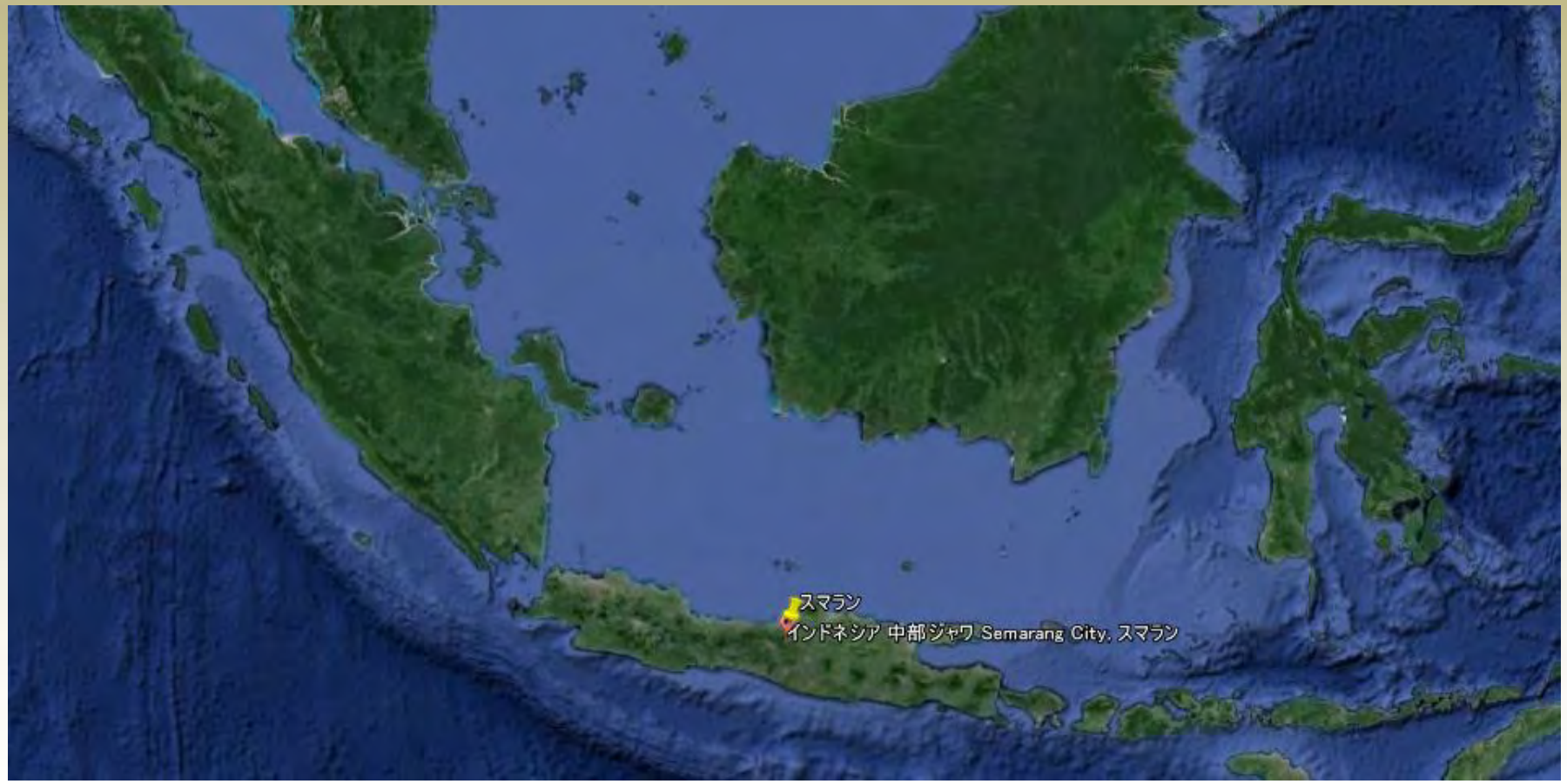
- 1433年、和の死には、2つの説がある。

  航海の途上での死

  南京に戻ってからの死

三保という標識

ジャワ島



スマランとスラバヤ

スマラン
Semarang
クドゥス
Kudus
トゥバン
Tuban
スメネプ
Sumenep
スラバヤ
Surabaya
中部ジャワ
サラティーガ
Salatiga
Sampang
東ジャワ
プロボリンゴ
Probolinggo
Klaten
Karanganyar
シトゥボンド
Situbondo
トゥルンガグン
Tulungagung
ジョグジャカルタ
ルマジャン
Lumajang
バニュワンギ
Banyuwangi
Genteng

スラバヤの大覚寺(三官大帝廟)

宝船

三保大人像

媽祖

行事

旧暦六月二九日・三十日
「三保大人進香」
鄭和が来航したとされる
記念日
神輿を担いで海まで練り
歩く。

旧暦十一月二九・三十日
「三保大人聖誕」

蘭川大覺寺諸佛神聖誕表

Daftar ulang tahun para Buddha (Sien Hut) di Tay Kak Sie

正月	初一日	彌勒尊佛	聖誕	Cia - Gwee	1	Ulang tahun Bi Lik Cun Hut
	初二日	頭等			2	Thauw Ge - Pembukaan tahun
	初四日	迎神接福			4	Toa - Pek - Kong turun (Ci - Sin)
	初六日	清水祖師	聖誕		6	Ulang tahun Jing Cui Co Su
	初九日	敬天公			9	Hari Keng Thi Kong
	十三日	關聖帝君	飛昇		13	Hari kenaikan Kwan Seng Te Kun
	十五日	三官大帝	聖誕		15	Hari lahir Thian Koan (Siang - Goan)
	二十六日	五路財神爺	聖誕		26	Ulang tahun Go Lo Jay Sin Ya
二月	初二日	福德正神	聖誕	Jie - Gwee	2	Ulang tahun Hok Tik Ceng Sin
	十九日	觀世音菩薩	聖誕		19	Hari lahir Kwan Im Po Sat
	二十一日	普賢菩薩	聖誕		21	Hari lahir Po Hian Po Sat
	二十二日	廣澤尊王	聖誕		22	Hari lahir Kong Tik Cun Ong
三月	初三日	玄天上帝	聖誕	Sha - Gwee	3	Ulang tahun Hian Thian Siang Te
	十五日	保生大帝	聖誕		15	Ulang tahun Po Seng Tay Te
	二十三日	天上聖母	聖誕		23	Hari lahir Thian Siang Seng Bo
四月	初四日	文殊菩薩	聖誕	Sie - Gwee	4	Hari lahir Bun Cu Po Sat
	初八日	釋迦如來佛	聖誕		8	Hari lahir Sakyamuni Buddha
五月	初一日	保生大帝	進香	Go - Gwee	1	Kedatangan Po Seng Tay Te (Cin - Hio)
	十一日	城隍老爺	聖誕		11	Hari ulang tahun Seng Hong Lo Ya
	十三日	關平將軍	聖誕		13	Hari ulang tahun Kwan Ping Ciang Kun
	十五日	太上老君	吉日		15	Hari peringatan Thay Siang Lo Kun
六月	初三日	韋馱菩薩	聖誕	Lak - Gwee	3	Hari lahir Wi To Po Sat
	十九日	觀世音菩薩	成道		19	Hari peringatan Kwan Im Po Sat mencapai kesempurnaan
	二十四日	關聖帝君	聖誕		24	Hari lahir Kwan Te Kun
	三十日	三保大人	進香		30	Hari kedatangan Sam Po Tay Jin (Cin - Hio)
七月	十五日	三官大帝	聖誕	Jit - Gwee	15	Hari lahir Tee Koan (Tiong - Goan)
	二八至二九	盂蘭勝會			28 - 29	Sembahyang King Ho Ping
	三十日	地藏王菩薩	聖誕		30	Hari lahir Te Cong Ong Po Sat
八月	初三日	司命灶君	聖誕	Pek - Gwee	3	Ulang tahun Su Bing Ciauw Kun
	十五日	福德正神			15	Sembahyang Tiong Jiu Hari terimakasih pada Hok Tik Ceng Sin
	二十二日	廣澤尊王	成道		22	Hari kesempurnaan Kong Tik Cun Ong
	二十七日	先師孔夫子	聖誕		27	Hari lahir Nabi Kong Hu Cu
	二十八日	二郎神	吉日		28	Hari peringatan Ji Long Sin
九月	初九日	天上聖母	成道	Kauw - Gwee	9	Hari kesempurnaan Thian Siang Seng Bo
	初九日	關聖帝君	成佛		9	Kwan Te Kun diangkat menjadi Buddha
	初九日	中壇元帥	聖誕		9	Hari lahir Tiong Than Goan Swe
	初九日	玄天上帝	聖誕		9	Hari kesempurnaan Hian Thian Siang Te
	初九日	九天玄女	吉日		9	Hari peringatan Kiu Thian Hian Li
	十九日	觀世音菩薩	成仙		19	Hari peringatan Kwan Im Po Sat meninggalkan duniawi
	三十日	藥師琉璃光佛	聖誕		30	Hari lahir Yok Su Hud
十月	十五日	三官大帝	聖誕	Cap - Gwee	15	Hari lahir Cui Koan (He - Goan)
	三十日	周倉將軍	聖誕		30	Hari lahir Ciu Jong Ciang Kun
十一月	初六日	清水祖師	成道	Cap - It - Gwee	6	Hari kesempurnaan Jing Cui Co Su
	十七日	阿彌陀佛	聖誕		17	Hari lahir O Mi To Hud
	三十日	三保大人	聖誕		30	Hari lahir Sam Po Tay Jin
十二月	初八日	釋迦如來佛	成道	Cap - Jie - Gwee	8	Hari kesempurnaan Sakyamuni Hud
	十六日	尾牙			16	Bwee Ge (Hari berterima kasih para pedagang pada Hok Tik Ceng Sin)
	二十四日	送神求福			24	Sembahyang mengantar Toa Pek Kong naik (Sang - Sin)

鄭和到着の記念日

三保の神輿

華人の祖先祭祀の場

祖先の神位牌

三保洞(San Poo Kong)

鄭和艦隊の舵取り

船舡爺

レリーフ:財宝

平定苏干剌叛乱
TO QUELL REBELLION OF SU GAN LA / ISKANDAR
MENUMPAS PEMBERONTAKAN SU GAN LA / ISKANDAR
DENGAN RAIDMAT TUHAN YANG MAHA ESA
REVITALISASI BANGUNAN UTAMA SAM POO YAY DHIN
DAN BANGUNAN KIM DHOROMORIA DI KOMPLEK
KLEN SAM POO KONG GEDANG BATU SEMARANG

レリーフ:交易

レリーフ:チャンパ王女を届ける

洞窟入り口

洞窟内部

洞窟内の三保像と井戸

スマランとスラバヤ

スマラン
Semarang
クドゥス
Kudus
トゥバン
Tuban
スメネプ
Sumenep
スラバヤ
Surabaya
中部ジャワ
サラティーガ
Salatiga
Sampang
東ジャワ
プロボリンゴ
Probolinggo
Klaten
Karanganyar
シトゥボンド
Situbondo
トゥルンガグン
Tulungagung
ジョグジャカルタ
ルマジャン
Lumajang
バニュワンギ
Banyuwangi
Genteng

三保廟（スラバヤ）

三保大人像

伝「鄭和艦隊の船材」（約10m）

船形の紙銭

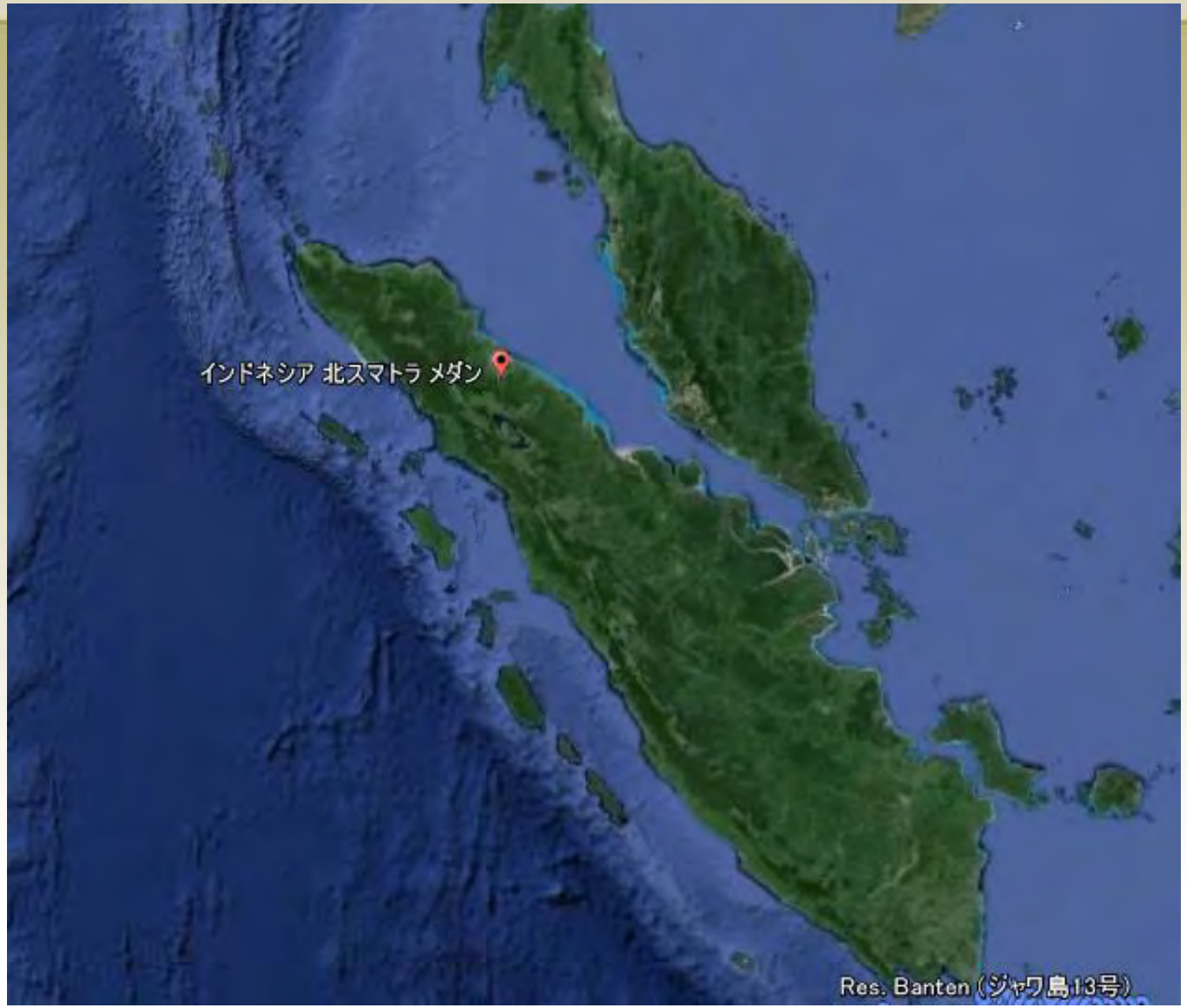
ムハンマド鄭和

鄭和記念モスク

鄭和清真寺 Masjid Muhammad Cheng Hoo

ムスリム鄭和のレリーフ

鄭和記念モスク建設の動き(メダン)



中華系ムスリムを訪ねて

マスジット中華　アル=アリ=鄭和